

Adobe Photoshop の「画像を生成」で、 モックアップに使える素材を生成しよう

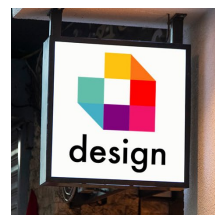


※画像使用についての注意事項 課題用に提供されているストック画像をワークショップ以外の用途に利用することを禁じます。

目次

STEP_1 8~10分

「モックアップ画像」と Photoshop の「画像を生成」について



STEP_2 8~10分

トートバッグのモックアップ画像を作成しよう



STEP_3 8~10分

缶ジュースのモックアップ画像を制作しよう



STEP_4 8~10分

ジャム瓶のモックアップ画像を構図指定で作成 しよう



「モックアップ画像」と Photoshopの「画像を生成」について



このステップで学べること：「モックアップ画像」とは何か／「画像を生成」でできること

1-1 「モックアップ画像」とは

モックアップ画像とは、自分がデザインした商品パッケージやロゴなどを実際の使用シーンに合成・配置したイメージ画像のことです。

目的

- ・デザインの完成イメージをクライアントに伝える
- ・SNS やポートフォリオ



一般的なモックアップ画像作成手順

- ・ストック素材サイトからモックアップ画像を探す、または実物を撮影
- ・使用シーンに配置
- ・ロゴ等を合成

1-2 「画像を生成」とは

「画像を生成」は、Photoshop の生成 AI 機能のひとつで、テキストから画像を生成できる機能です。空のキャンバスや既存のドキュメント上に、写真風・イラスト風・3D 風など、さまざまなスタイルのビジュアルを生成できます。

※本機能の詳細は、前回のワークショップで解説しています。参照したい方は、[前回の内容](#)をご確認ください。



プロンプト：日本人の女性モデル
コンテンツタイプ：写真



プロンプト：日本人の女性モデル、モダンな服
コンテンツタイプ：アート



プロンプト：宝石で作られた1つの花、白背景
コンテンツタイプ：写真

モックアップ素材に「画像を生成」を使うメリット

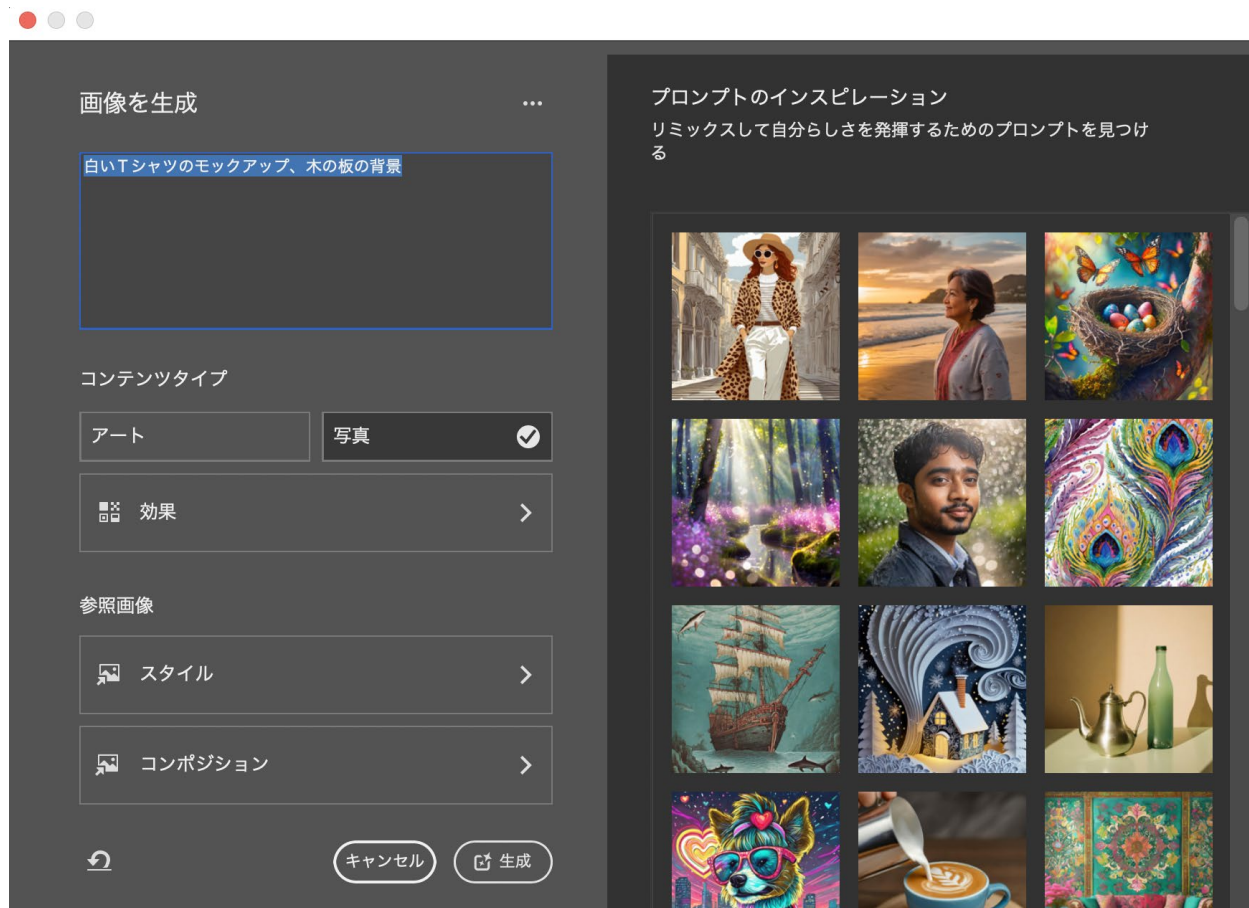
モックアップ素材を生成することには、従来の方法と比べて以下のようなメリットがあります。

- ・ 素材を探したり撮影する時間と費用のコストを抑えることができる
- ・ 自分のデザインにぴったり合う構図・角度・素材感のモックアップ素材を生成できる

1-3 モックアップ素材を生成してみよう

Tシャツ単体のモックアップ

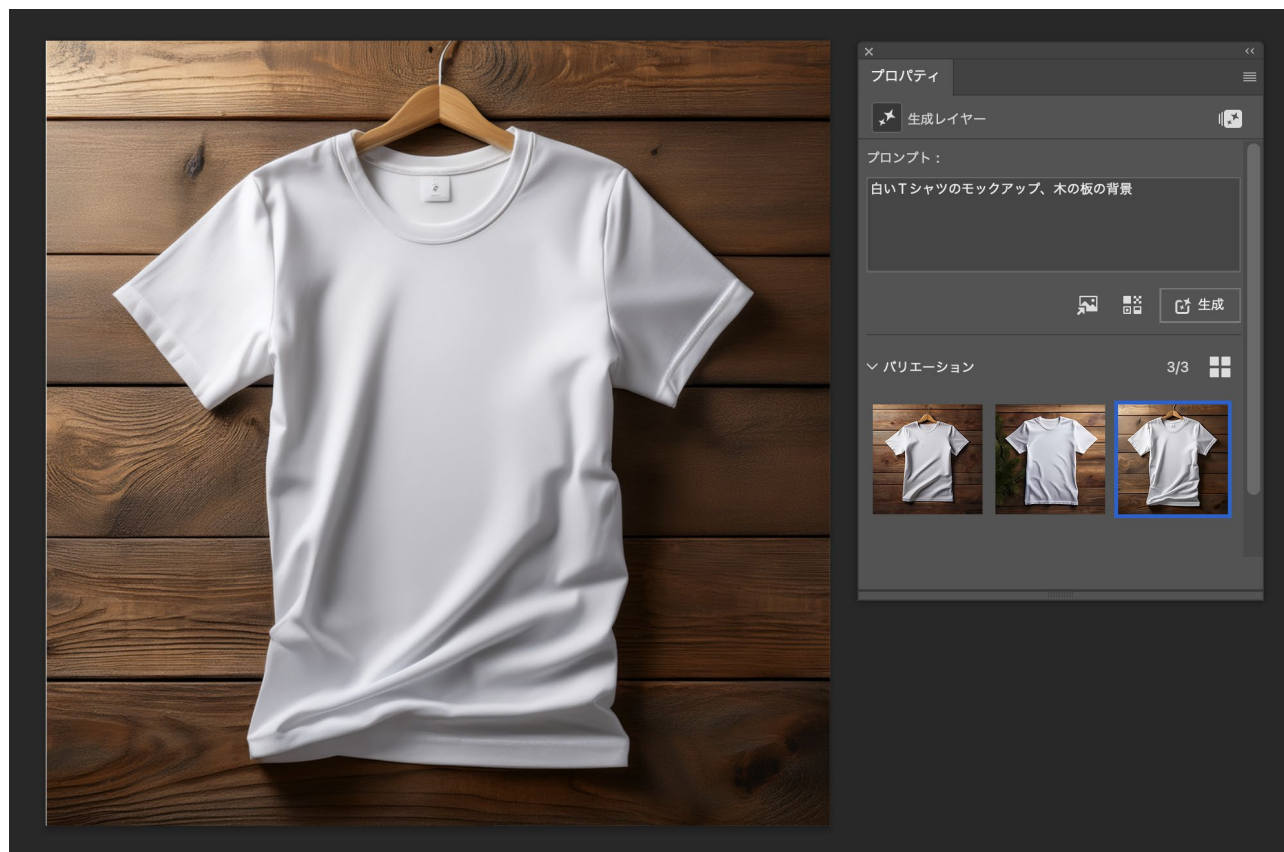
- ①新規ファイルを作成（1500px の正方形）
- ②「画像を生成」の画面を開く
- ③プロンプトを入力「白いTシャツのモックアップ、木の板の背景」
- ④コンテンツタイプを「写真」にする
- ⑤生成



ヒント

プロンプトに必ず入れるワードは「〇〇のモックアップ」、これを入れることで合成しやすい無地の画像が生成されやすくなります。

⑥ プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ



ヒント

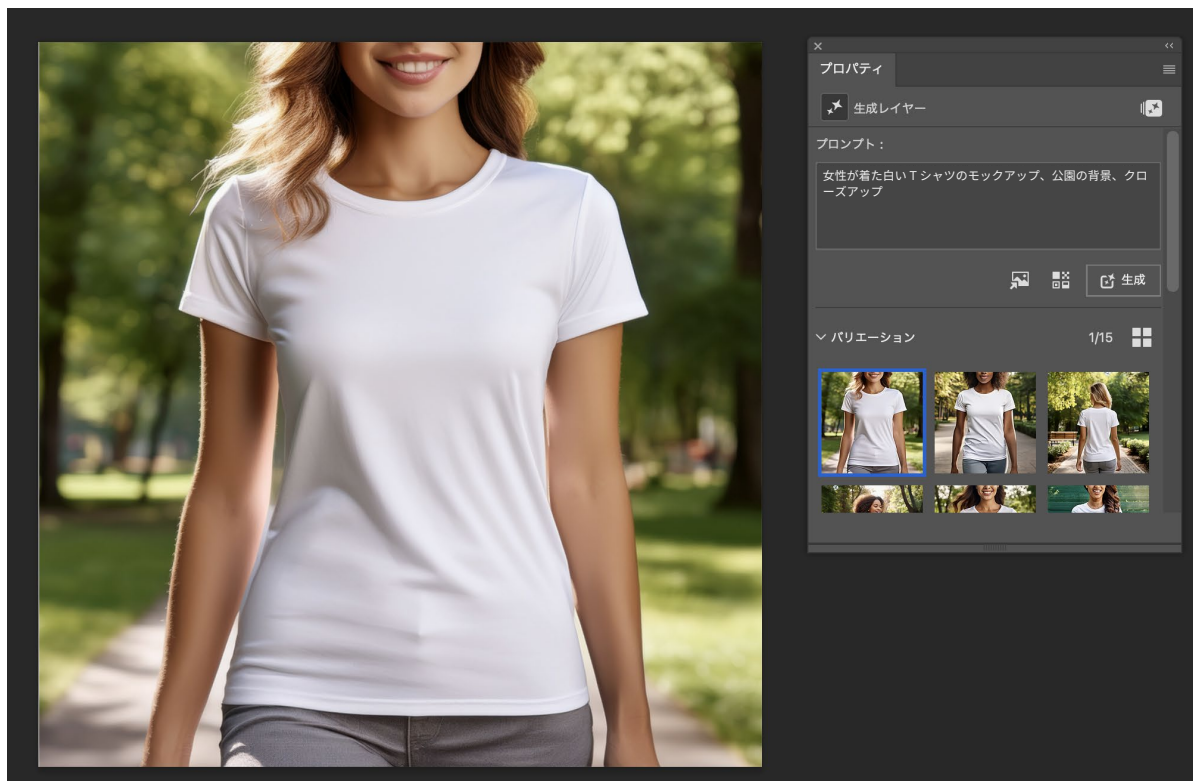
画像の明るさが気になる場合

生成された画像のコントラストが強すぎると感じたら、効果に「美しい」を追加すると明るめで清潔感のある仕上がりになります。



人が着たTシャツのモックアップ

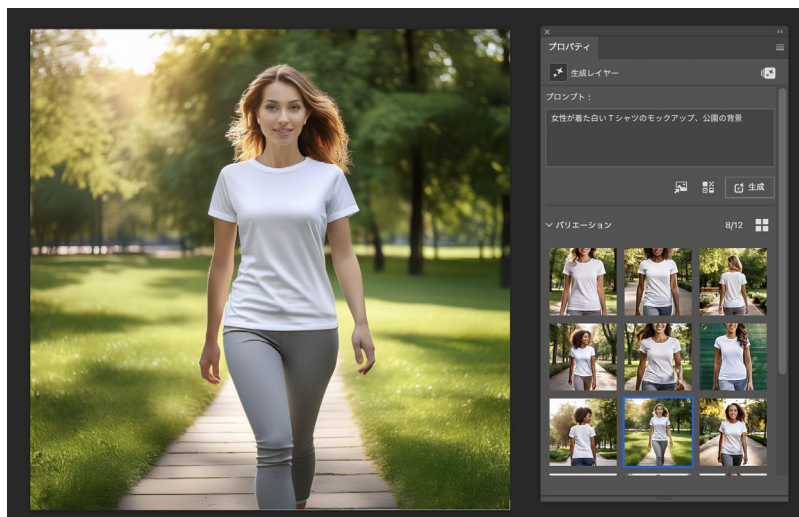
- ①新規ファイルを作成（1500pxの正方形）
- ②「画像を生成」の画面を開く
- ③プロンプトを入力「女性が着た白いTシャツのモックアップ、公園の背景、クローズアップ」
- ④コンテンツタイプを「写真」にする
- ⑤生成
- ⑥プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ




ヒント

「クローズアップ」を入れる or 入れないの違い

- ・プロンプトに「クローズアップ」を入れると、人物の上半身～Tシャツ部分が大きく写った画像になる
 - ・入れない場合、全身が写った構図になることが多く、合成時にTシャツ部分が小さくなりすぎる可能性がある
- 合成したいデザインのサイズ感に応じて使い分けるのがポイント

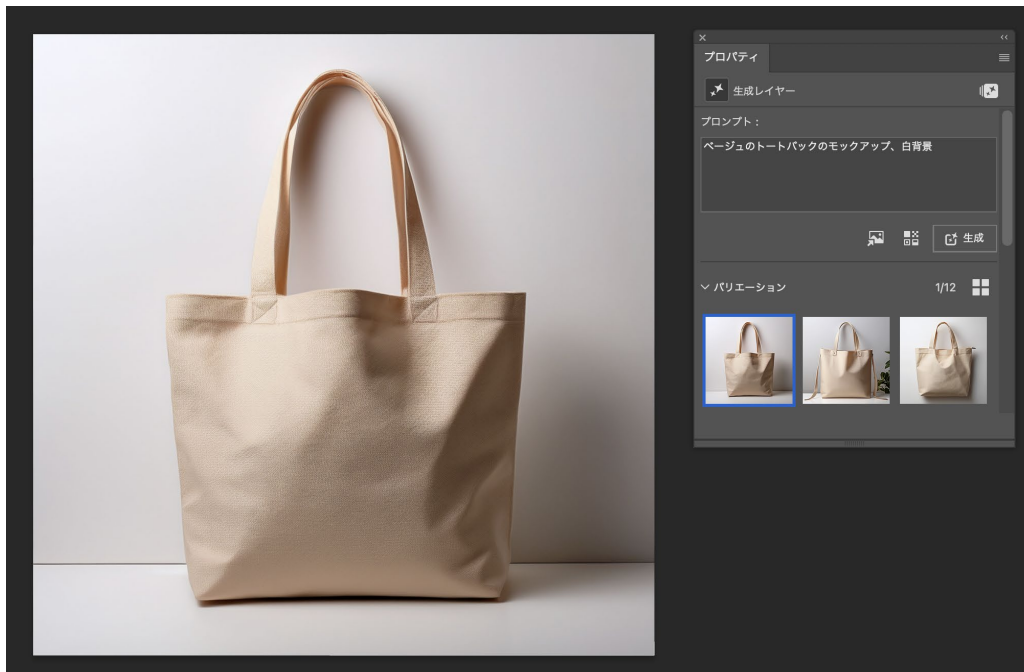


トートバッグのモックアップ画像を作成しよう

 このステップで学べること：トートバッグのモックアップ生成方法／デザインを布に合成する方法

2-1 トートバッグのモックアップ画像を生成

- ①新規ファイルを作成（1500px の正方形）
- ②「画像を生成」の画面を開く
- ③プロンプトを入力「ページのトートバックのモックアップ、白背景」
- ④コンテンツタイプを「写真」にする
- ⑤生成
- ⑥プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ



ヒント

余計な要素を消したい時は「削除ツール」が便利



プロンプト

プロンプトの「～背景」の部分を変えると様々なシーンにできます。



芝生の背景



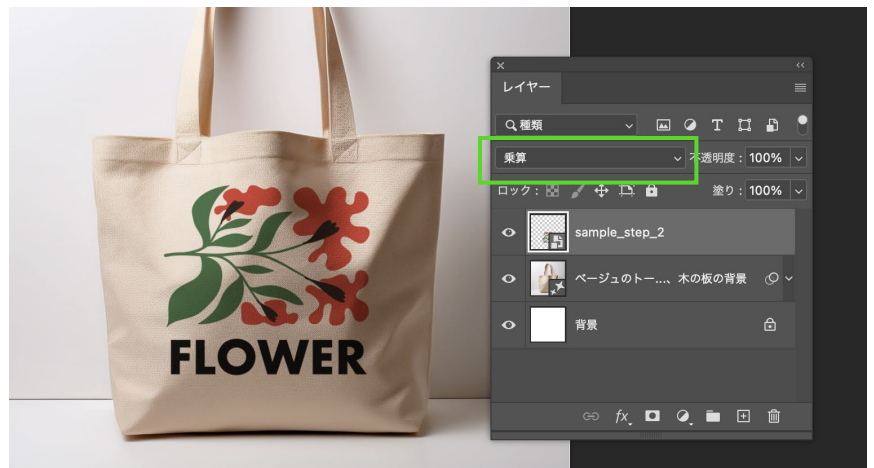
海の背景

2-2 トートバッグのモックアップ画像を生成

「画像を生成」で作成したトートバッグのモックアップ素材に、デザインを合成してみましょう。

今回は描画モードの「乗算」とレイヤースタイルのブレンド条件を使って、リアルに馴染ませるテクニックを紹介します。

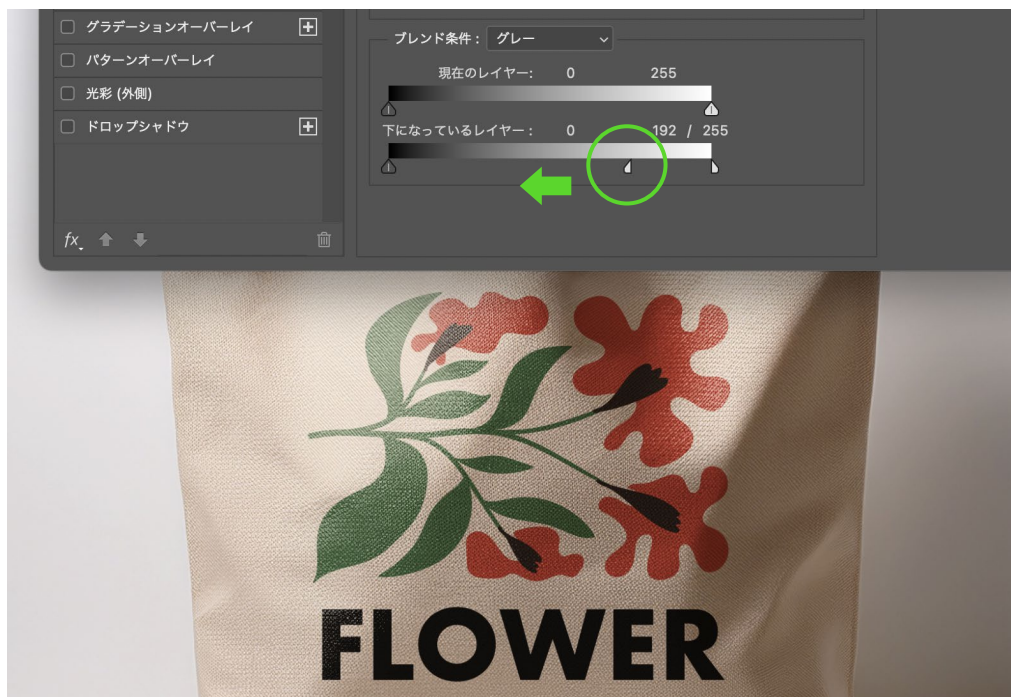
- ①ダウンロードした、ワークショップキットから、「sample_step_2.png」をアートボードにドラッグ & ドロップ
- ②位置とサイズを調整して、エンターキーで配置
- ③レイヤーパネルから描画モードを「乗算」に変更



④「sample_step_2」のレイヤー名の右側をダブルクリックし、レイヤースタイルを開く

⑤ブレンド条件の「下になっているレイヤー」から、白いポイントの右側で Option (Alt) キーを押しながら、右にドラッグ

※プレビューを見ながら、合成が自然に見える位置に調整しましょう



ヒント

ブレンド条件とは

レイヤースタイルの中にある合成機能で、レイヤーのピクセルを特定の明るさ（輝度）に応じて透明化し、下のレイヤーを自然に見せることができる機能です。今回のような布ヘデザインを合成する時にぴったりの機能です。

スライダー操作のポイント


左側のポイントが「黒」（暗い部分）、右側のポイントが「白」（明るい部分）です。

どちらかのポイントの近くで、スライダーを Alt (Option) キーを押しながらドラッグすると、中間ポイントを作ることができ滑らかに透明にすることができます。（グラデーション的に馴染む）

⑥OK ボタンでレイヤースタイルを終了

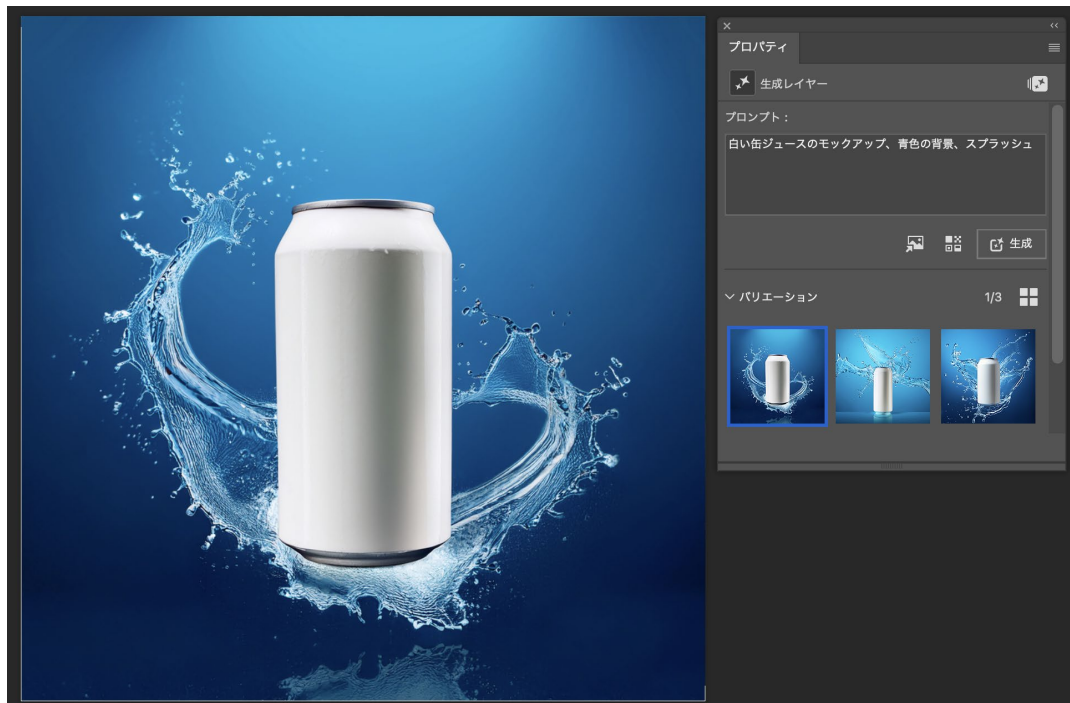


缶ジュースのモックアップ画像を作成しよう

 このステップで学べること：缶のモックアップ生成方法／デザインを缶に合成する方法

3-1 缶のモックアップ素材を生成

- ①新規ファイルを作成（1500px の正方形）
- ②「画像を生成」の画面を開く
- ③プロンプトを入力「白い缶ジュースのモックアップ、青色の背景、スプラッシュ」
- ④コンテンツタイプを「写真」にする
- ⑤生成
- ⑥プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ

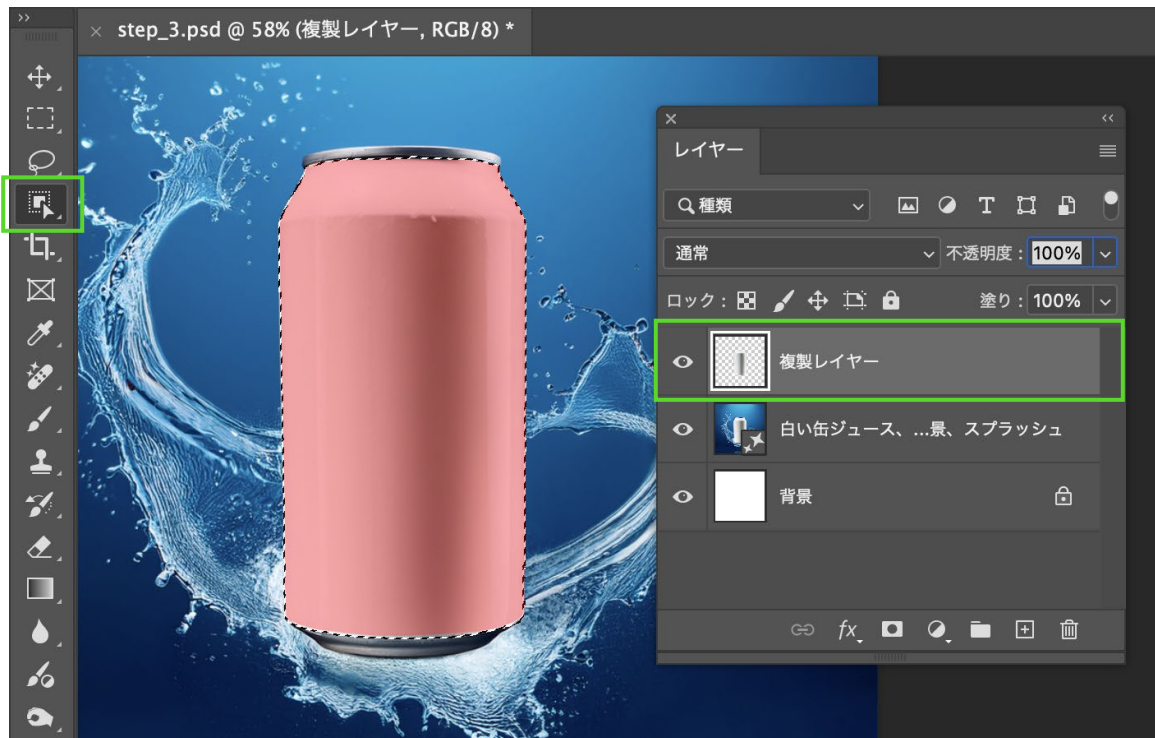


3-2 デザインを合成する

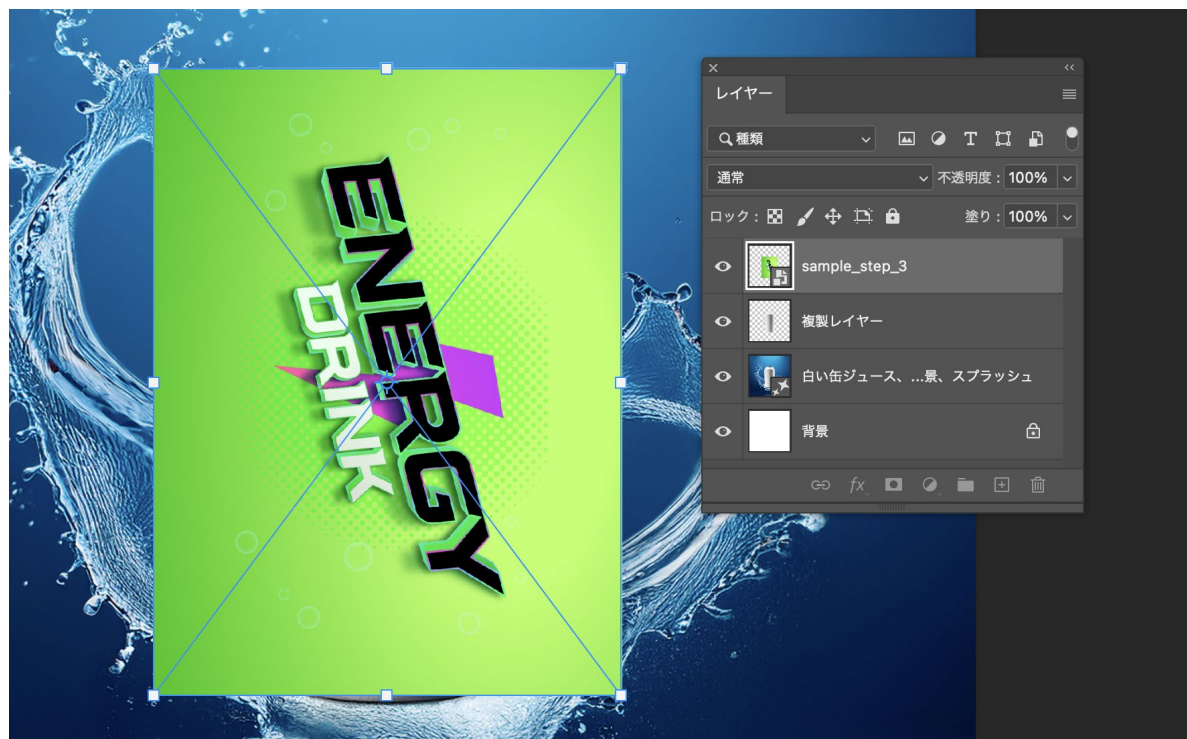
「画像を生成」で作成した缶のモックアップ素材に、デザイン画像を合成してみましょう。

今回はクリッピングマスクと、描画モード「乗算」を使って、リアルに馴染ませるテクニックを紹介します。

- ①オブジェクト選択ツールに切り替えて、缶の中央部分をドラッグし、ラベルを合成するエリアの選択範囲を作成
- ②Command (Ctrl) +J で、選択範囲を新規レイヤーに複製

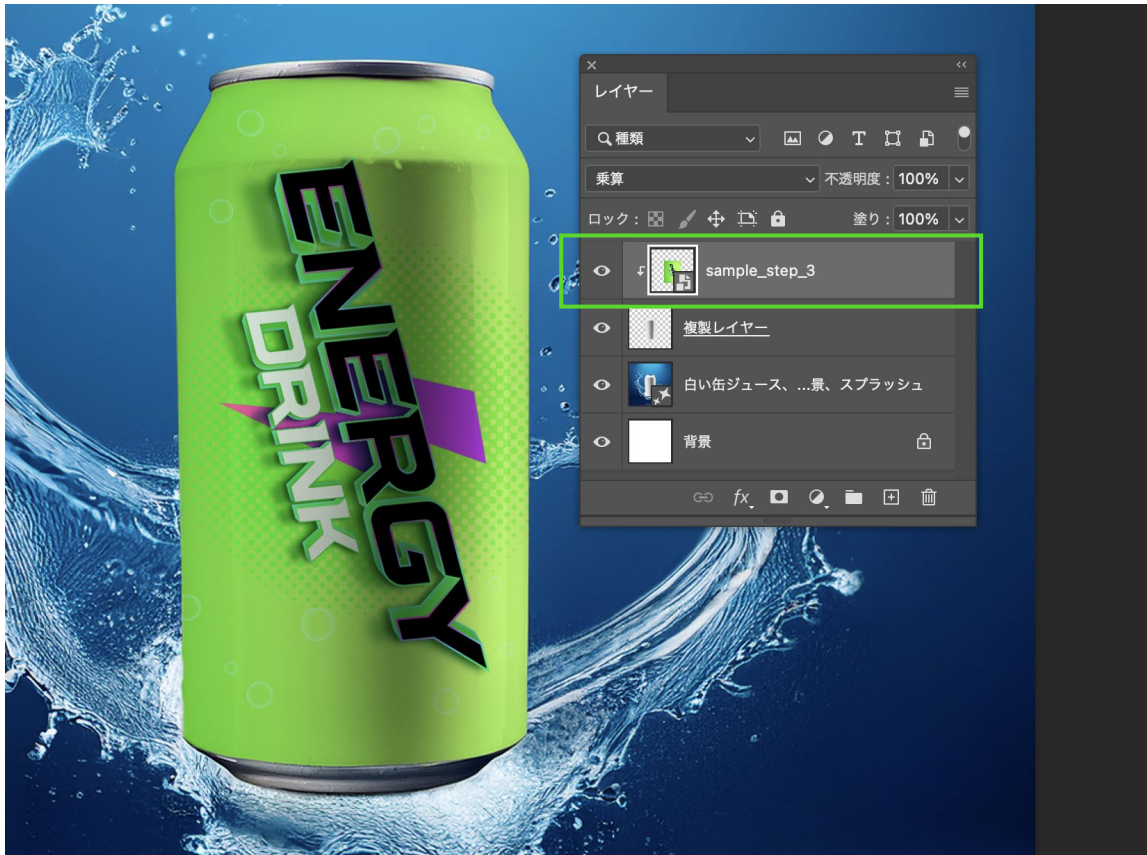


- ③ダウンロードした、ワークショップキットから、「sample_step_3.jpg」をアートボードにドラッグ & ドロップ
- ④デザインの位置とサイズを調整して、エンターキーで配置
(缶を全て覆うように配置しましょう)



⑤レイヤーパネルから sample_step_3 のレイヤーを右クリックし、「クリッピングマスクを作成」を選択

⑥レイヤーパネルから、ラベルの描画モードを「乗算」に変更



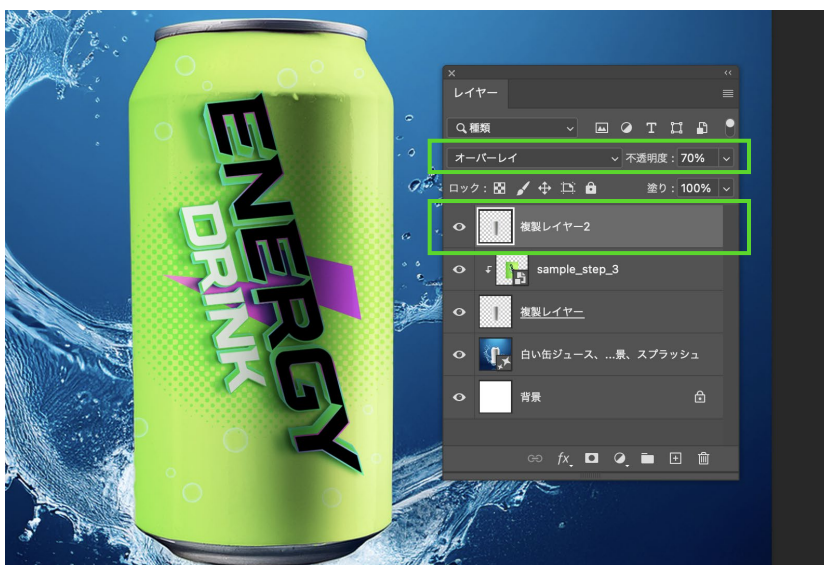
ヒント

より立体感をリアルにする方法

デザインはすでに缶に合成できていますが、立体感をさらに自然に見せたい場合は、以下の追加ステップを行うことで、リアルさが一段アップします。

①切り抜きした缶のレイヤーを一番上に複製

②描画モードを「オーバーレイ」に変更し、不透明度を 40~80% に変更



3-3 ライムの装飾を追加

缶のモックアップをさらに印象的に見せるために、生成塗りつぶしを使って背景にライムを合成してみましょう。

①楕円形選択ツールに切り替えて、缶の右側に shift キーを押しながら正円の選択範囲を作成



②コンテキストタスクバーから、「生成塗りつぶし」をクリック

③プロンプトを入力「ライム」


④生成

⑤プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ





ジャム瓶のモックアップ画像を構図指定で作成しよう

 このステップで学べること：構図を指定したモックアップの生成方法／デザインを瓶に合成する方法

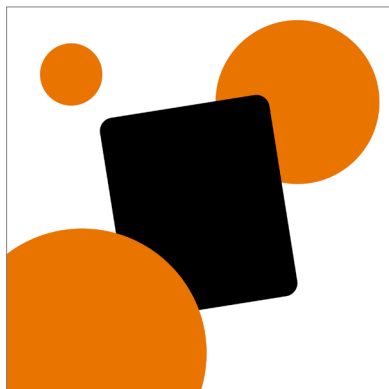
4-1 ジャム瓶のモックアップ素材を生成

今回は「コンポジション」機能を使って、構図を指定してジャム瓶のモックアップと、その周りに配置されたオレンジを同時に生成します。

使用する画像

構図の指定には、長方形ツール（ジャム瓶）や楕円形ツール（オレンジ）などを使って、ざっくりとレイアウトを作成した画像を使用します。

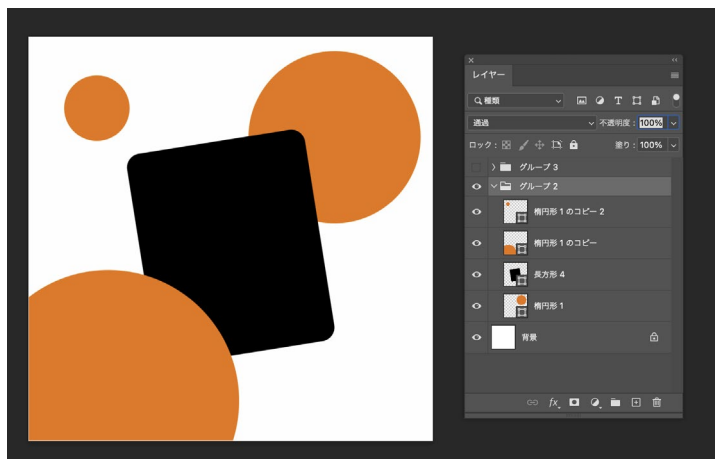
- ・今回は、事前に用意した構図画像を使います
- ・お時間のある方は、画像を参考にして自分で作成してみるのもおすすめです



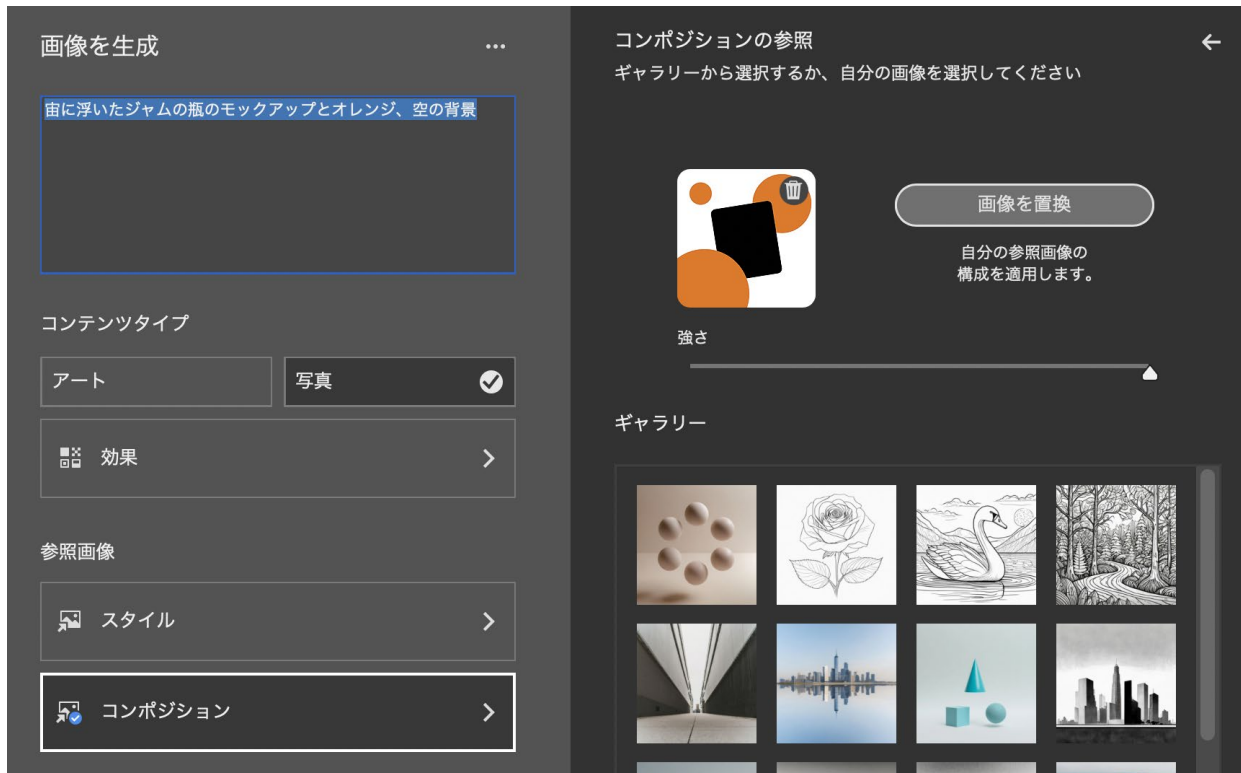
ヒント

構図画像を作るときのポイント

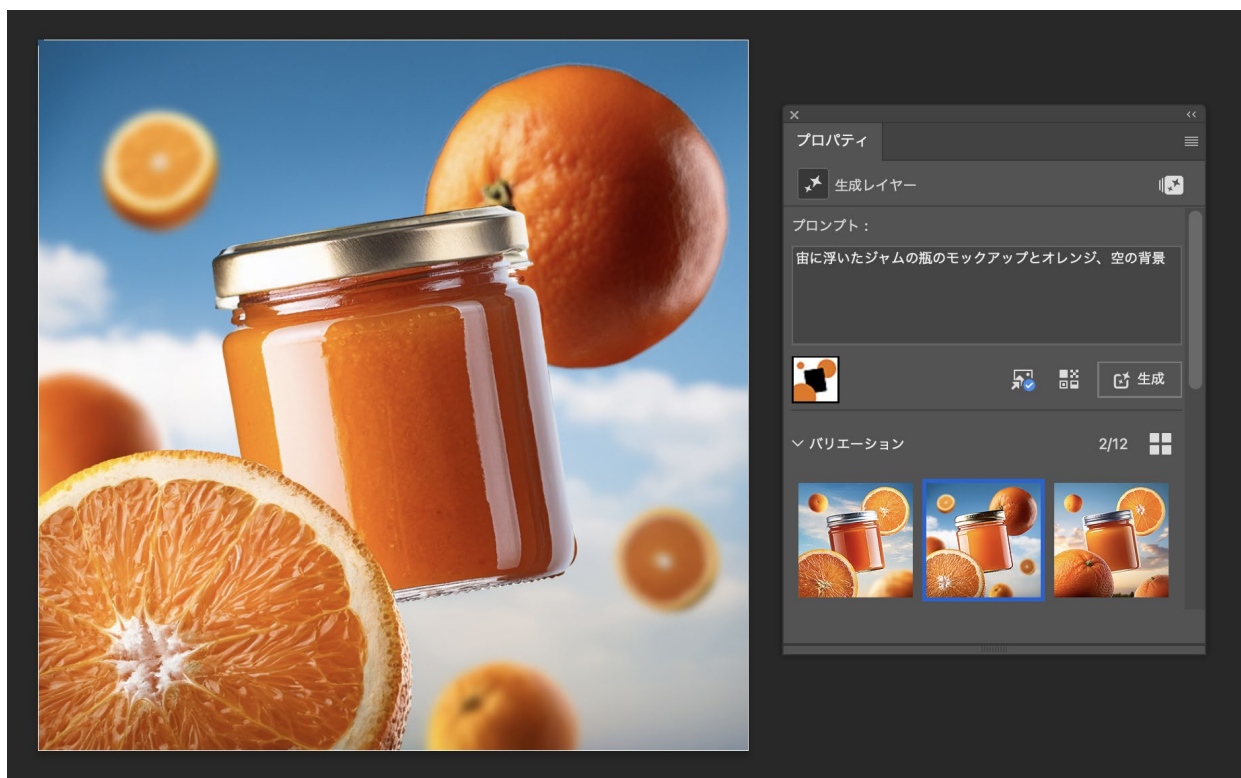
- ・主役（ジャム瓶）と装飾（オレンジ）を明確に分けて配置しましょう
- ・それぞれのパーツは、色相やコントラストを変えておくと、AI が認識しやすくなります
- ・完璧な形でなくても大丈夫。ラフで OK ですが、配置の意図が伝わるレイアウトにするのがコツです



- ①新規ファイルを作成（1500px の正方形）
- ②「画像を生成」の画面を開く
- ③プロンプトを入力「宙に浮いたジャムの瓶のモックアップとオレンジ、空の背景」
- ④コンテンツタイプを「写真」にする
- ⑤コンポジションに「sample_composition.jpg」を設定



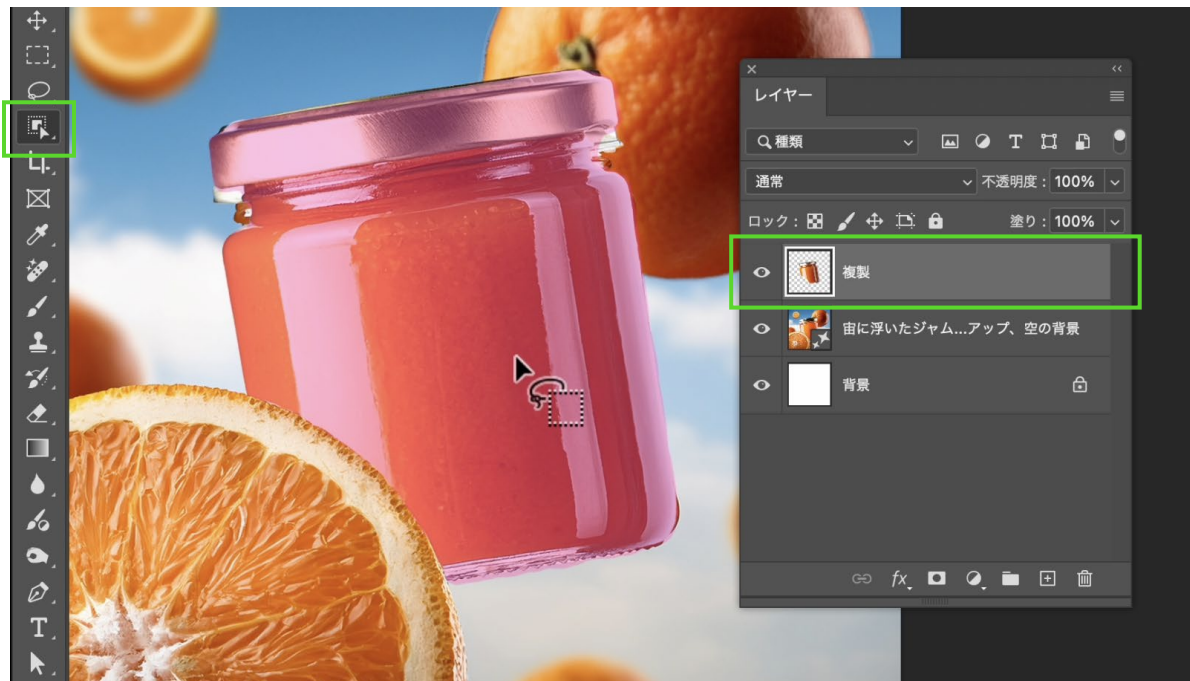
- ⑤生成
- ⑥プロパティパネルから好きなバリエーションを選ぶ



4-2 デザインを合成する

「画像を生成」で作成したジャム瓶のモックアップ素材に、デザイン画像を合成してみましょう。
クリッピングマスクと不透明度だけで、自然に馴染ませるテクニックを紹介します。

- ①オブジェクト選択ツールに切り替えて、瓶の部分をドラッグし、ラベルを合成するエリアの選択範囲を作成
- ②Command (Ctrl) +J で、選択範囲を新規レイヤーに複製

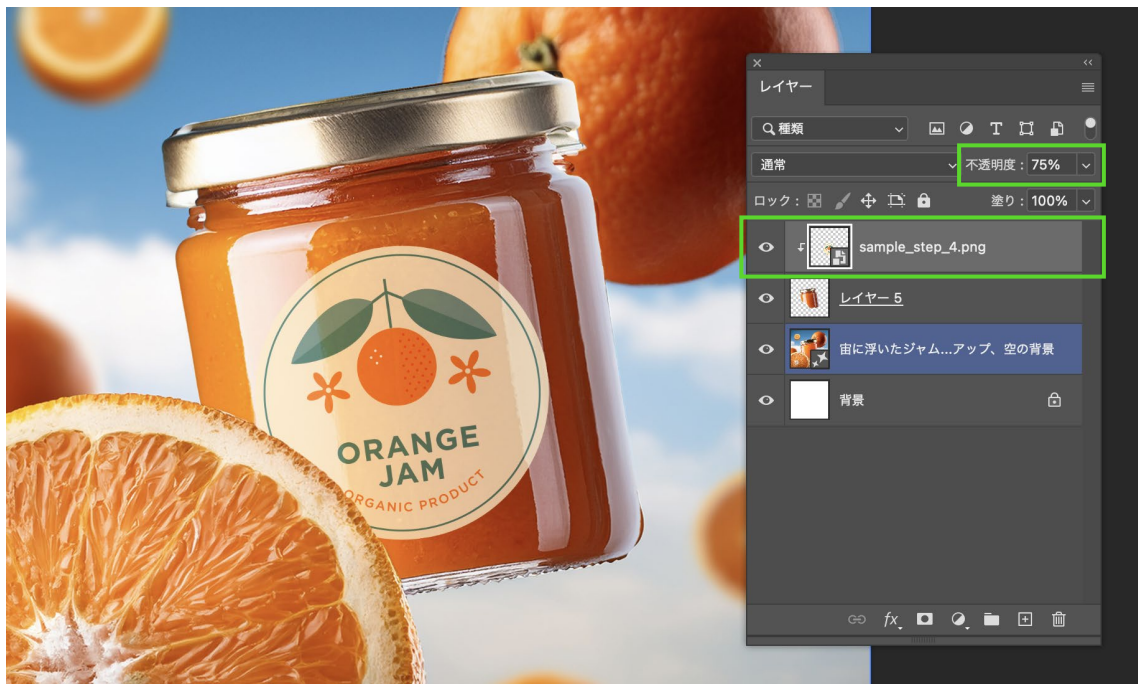


- ③ダウンロードした、ワークショップキットから、「sample_step_4.png」をアートボードにドラッグ & ドロップ
- ④デザインの位置とサイズを調整して、エンターキーで配置



⑤レイヤーパネルからラベルのレイヤーを右クリックし、「クリッピングマスクを作成」を選択

⑥レイヤーパネルから、ラベルの不透明度を「75%」に変更

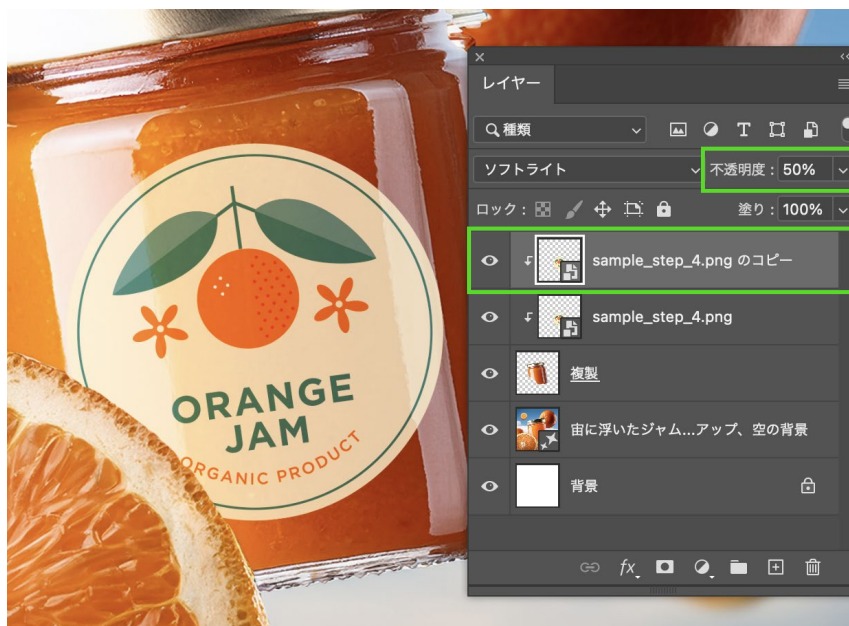


ヒント

瓶にラベルデザインを合成するとき

瓶にラベルデザインを合成する際は、ラベルレイヤーの不透明度を少し下げることによって瓶のハイライトや影がうっすら透けて自然な仕上がりになります。

ラベルがやや暗く見える場合はレイヤーを複製して上に重ね、描画モードを「ソフトライト」、不透明度を 30～60% に設定することで、質感を保ったまま自然に明るさを補正できます。





4-3 モックアップの作例紹介



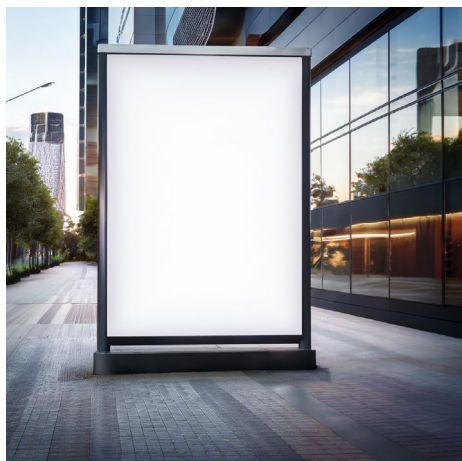
女性が持ったベージュのトートバックのモックアップ、
海の背景



白いマグカップのモックアップ



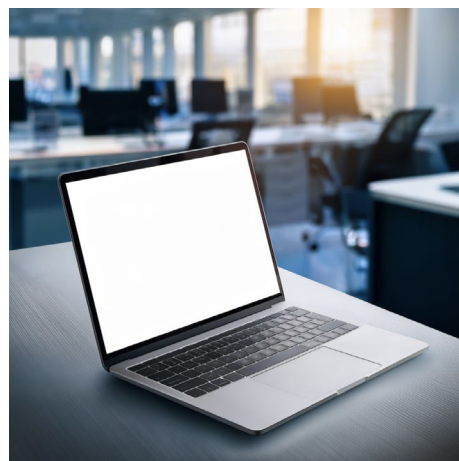
白いマグカップのモックアップ、自然の背景



大きな看板のモックアップ、ビルの背景



お店の小さな丸い看板のモックアップ



ノート PC のモックアップ、オフィスの背景



宙に浮いた茶色のアロマボトルのモックアップ



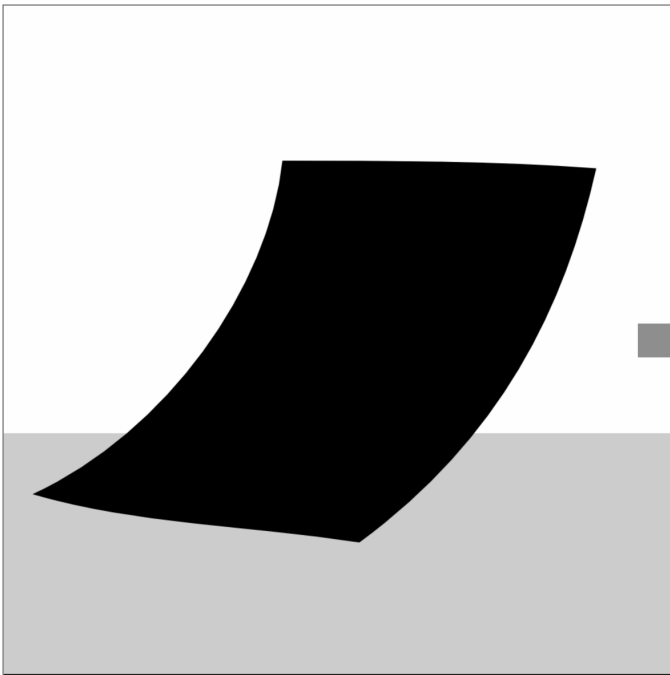
宙に浮いた茶色のアロマボトルのモックアップ、
花の背景



ポスターのモックアップ



紙のモックアップ、A4、木のテーブルの背景



構成参照



紙のモックアップ